



彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部
The Institution of Professional Engineers, Japan

こうほう・Vol.22.2023.10.1.

〒333-0844 川口市上青木3-12-18 SKIPシティ A1-706B
埼玉県支部事務局

Tel.:048-263-0840, Fax.:048-263-0841

<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>



目次

巻頭言	日本技術士会広報委員会前委員長	笹口 裕昭
支部長挨拶	日本技術士会埼玉県支部支部長	石田 正雄
委員会活動紹介		
総務企画委員会	委員長	白岩 信裕
CPD委員会	委員長	菅原 宏
科学技術振興委員会	委員長	中田よしみ
地域産業支援委員会	委員長	近藤 孝
地域活性化委員会	委員長	若林 直樹
会長表彰受賞者紹介		平松 達生
技術士試験合格者祝賀会報告	CPD委員会	速川 敦彦
技術士試験合格者紹介	浅岡 延好 井関 貴吉 小柳 昌光	藤野 博史
	松原 弘明 松本 幸治 山本 達也 吉野 潔	若林 和義
年次大会報告	総務企画委員会副委員長	出森 公人

巻頭言 地域組織からの情報発信

公益社団法人日本技術士会 前理事・前広報委員長 笹口 裕昭

埼玉県支部の会員の皆様には、日頃から日本技術士会（以下、「本会」とします）の広報活動にご理解とご協力をいただき、感謝しております。また埼玉県支部での活発な情報発信活動に対しては、広報委員会としても尊敬の念をもって応援をさせていただいております。

皆さまにもご周知のとおり、従来から広報委員会では月刊『技術士』の編集・発刊を主軸に、技術士会会員の皆さまに本会の様々な活動や会員の皆様の研究成果、活動実績などを、会誌を通じてご紹介してきております。また前期(2021~2022年度)の広報委員会では、この会誌を単に会員向けの会報誌としてではなく、外部の皆様への情報発信の貴重なツールとして位置付け、会員以外の技術士・技術者の皆様にも広く執筆をお願いしたり、年2回の特集号のウェブ版(PDF)に関しては、会員IDの入力を不要とし、広く社会の皆様にご覧いただけるようにいたしました。

さらに、本会全体で行っている様々な外部に向けた広報活動、たとえばラジオ、新聞、YouTubeを使ったPR動画などを、ホームページで紹介することで支援しております。

埼玉県支部でも、「彩の国ビジネスアリーナ2023」で本会の公式PR動画をご披露していた

ただだけでなく、埼玉県支部のPR動画も自ら制作され、会場およびウェブでご披露されました。私自身もこのイベントにウェブ参加させていただきましたが、埼玉県支部の活発な活動に感嘆し、そしてとてもうれしい気持ちになりました。



笹口 裕昭 前委員長

また、今年の4月には、埼玉県支部の防災支援活動の様子が「こしがやエフエム」で、再放送も含めれば4週にわたって放送されました。6月にも2回目の放送がありましたね。私自身もラジオを使って、この放送をとっても興味をもって聴かせていただきました。県支部としてその地域に根差したFM放送局の、その地域に必要な情報を提供するラジオ番組に出演されたのは、たぶん埼玉県支部が初めてだと思います。メディアを使った技術士の知名度向上に大きく貢献されています。

他の県支部や地域本部の皆さんが、埼玉県支部の活動を手本にして、それぞれが技術士とその仕事や活動の成果を様々な媒体を通じて発信していただけることを強く期待しております。

支部長挨拶

日本技術士会 埼玉県支部支部長 石田 正雄

このたび、埼玉県支部支部長を拝命いたしました石田です。支部役員の皆さんとともに支部の発展に寄与したいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。

ところで皆様、技術士制度の生みの親は誰だかご存じでしょうか。それは終戦直後の時の宰相、吉田茂です。「権威のある民間技術者によるコンサルティング・エンジニア制度の確立が急務であり、これは日本の復興のためにも、世界の平和のためにも、人類の繁栄のためにも、日本の技術者が果たさなければならぬ使命である」と。これが我々の存在理由ですね。

私は技術士の存在意義を社会貢献にあると思っています。そしてその貢献度の最大化はwell-beingと同じ概念でしょう。自分自身の幸せと社会の幸せを真摯に追い求め、より良き存在を目指す。よって我々は社会貢献、well-beingを目指した活動をしていきたい。

埼玉県支部は、会報発行・HP活用(総務企画委員会)、CPDの企画・実施(CPD委員会)、科学技術の普及・啓発(科学技術振興委員会)、地域産業の支援、

技術士活動のPR(地域産業支援委員会)、地域在住会員の交流促進(地域活性化委員会)等の活動を推進してきました。そして今期は、埼玉県支部が推進してきた社会貢献をさらに高めるために、従来の各委員会活動に加え、次の2点に注力したいと思います。

- ① 広報活動の積極展開：技術士の存在を広く知っていただき、技術士を有効活用していただく。
- ② 防災活動の積極展開：数十年に一度の豪雨が毎年襲ってきます、そして巨大地震も間近に迫ってきました。トップレベルの専門家が地元へ密着して災害に備える必要があります。

技術士活動は大きな価値を持ちます。社会貢献という崇高な目標に向かって、明るく楽しく元気よく行きましょう。できることから無理なく。



石田 正雄 支部長

埼玉県支部役員

氏名	委員長	所属委員会	技術部門
石田 正雄	支部長		金属
近藤 孝	副支部長・地域産業支援委員会委員長	地域産業支援委員会	金属
白岩 信裕	副支部長・総務企画委員会委員長	総務企画委員会、CPD委員会	化学、総合技術監理
菅原 宏	CPD委員会委員長・支部会計担当	CPD委員会、総務企画委員会	応用理学、総合技術監理
中田 よしみ	科学技術振興委員会委員長	科学技術振興委員会、総務企画委員会	原子力・放射線
若林 直樹	地域活性化委員会委員長	地域活性化委員会	建設、総合技術監理
出森 公人	総務企画委員会副委員長	総務企画委員会、地域産業支援委員会	電気電子
伏見 隆夫	CPD委員会副委員長	CPD委員会	経営工学、総合技術監理
佐藤 佳則	科学技術振興委員会副委員長	科学技術振興委員会、総務企画委員会	電気電子
小柳 直昭	地域活性化委員会副委員長、北部地域小委員会委員長	地域活性化委員会、地域産業支援委員会	建設
平松 達生	東部地域小委員会委員長	地域活性化委員会、地域産業支援委員会	上下水道、総合技術監理
近藤 訓	西部地域小委員会委員長	地域活性化委員会、CPD委員会、地域産業支援委員会	金属
村山 肇	会計幹事	総務企画委員会、CPD委員会	金属
埜本 信一	会計幹事	地域産業支援委員会	金属
黒澤 兵夫	支部幹事	CPD委員会、科学技術振興委員会	情報工学、総合技術監理
穴戸 富雄	支部幹事	地域活性化委員会	機械
高橋 正人	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	機械
長谷川 俊一	支部幹事	CPD委員会、地域活性化委員会	機械
浜端 英男	支部幹事	地域活性化委員会	上下水道
速川 敦彦	支部幹事	CPD委員会	機械、総合技術監理
藤田 賢二	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	金属
増古 恒夫	支部幹事	CPD委員会	情報工学、総合技術監理
松本 良一	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	建設
山田 敏広	支部幹事	地域産業支援委員会、地域活性化委員会	建設
横山 正巳	支部幹事	総務企画委員会、CPD委員会、地域産業支援委員会	上下水道

特別職 副委員長委属

須郷 均	地域産業支援委員会副委員長	地域産業支援委員会	情報工学
山本 達也	CPD委員会副委員長	CPD委員会、科学技術振興委員会	農業、総合技術監理

総務企画委員会

埼玉県支部総務企画委員会委員長 白岩 信裕

2023 年度は前年度に比べ新型コロナウイルスの感染防止の影響が緩和し、支部活動が活発になると予測されます。数年間実施し経験したオンライン活動を状況に応じ適宜採用し、支部行事が円滑に行えるよう、総務企画委員会委員 10 名で活動いたします。

当然、支部活動が活発になるに伴い、会員や外部諸機関、団体等からの問い合わせや支援の要請が多くなると予測していますので、これに応じるべく各委員会との情報交換や連携、県内会員への情報発信に努めます。今年度の支部活動方針である技術士及び技術士会の知名度向上に向けて、総務企画委員会は主に広報活動で応じていきたいと思っております。そして組織が一層強化するよう総務や財務が効率的になるようにし、情報管理に携わる者を更新し、諸委員会の活動を支援してまいります。

2023 年度における総務企画委員会活動の課題と目標は以下2点です。

1) 広報活動の推進

活動を活発にする目的で、昨年度、広報グループを立ち上げました。今年度はグループによる支部紹介の動画と技術士資格の有用性を示す動画を制作する計画です。これは、外部に対し埼玉県支部或いは技術士の知名度向上に繋がるメッセージになると思っております。

なお、グループでは従前通り、年2回の広報誌の発行や支部HPによる情報発信を図ります。

2) 組織の強化

前年度、事務職員の新規採用と支部活動支援のための備品類の充実を図りました。

今年度は支部保有の記録類を整理し、規定類の見直しと備品類を充実させることで、事務全般の効率化を進め支部の次の10年を見据えた活動に繋がるよう、支援体制の強化に努めます。

皆様からの提案・意見をお待ちしております。

CPD委員会

埼玉県支部CPD委員会委員長 菅原 宏

本委員会では、16名の委員が1) CPD 行事の企画・実施、2) 技術士倫理の研修、3) 教育機関、若手技術者への技術士制度普及、参加者の満足度向上、技術士資質の向上を目指し、活動しています。今年度前半(4月~9月)は、見学会2回、支部全体・各委員会との共催などで講演会を3回、大学生対象の

技術士制度説明会を3回、コミュニケーション技法習得セミナーを1回実施しました。

現在、会員の行事への参加促進を図るべく運営等の改善を行っております。今後の各種行事の詳細は日本技術士会HP 行事案内・県支部HP や会員メールでお知らせいたしますので奮ってご参加ください。

2023年度下期 CPD 行事開催予定

開催予定日	行事(テーマ)	開催場所(予定)
2023/11/4(土)	講演会	オンライン
11/24(金)	彩の国産業活性化交流会	新都心ビジネス交流プラザ(ハイブリッド)
12/2(土)	講演会	ウエスタ川越
12月	講演会「産学官連携」	浦和コミュニティセンター
2024/1/6(土)	技術士研究・業績発表大会	新都心ビジネス交流プラザ
1/27(土)	「新規開業セミナー」	新都心ビジネス交流プラザ
2月	講演会	オンライン
2月	講演会	浦和コミュニティセンター
3/16(土)	「技術士資格取得制度説明会」	浦和コミュニティセンター

科学技術振興委員会

埼玉県支部科学技術振興委員会委員長 中田 よしみ

本委員会では、現在 8 名の委員が活動しており、現段階では、主に学童を対象とした理科教室などの対外活動、コンテンツの開発ならびに研修などを行っています。将来的には、高校生や一般の方々を対象とした科学技術の普及に努めたく思っています。地域活性化委員会、CPD 委員会等との連携を図り、今後も科学技術の継承ならびに継続を担う将来の人材支援を意識して、活動計画等を行ってまいります。また、会員のみならず、ご意見を伺いながら、更なる発展を目指していきたいと思っています。



女子中高生夏の学校 2023 (8/6 実施)

年間の主な活動スケジュール

時期	内容	備考
7月	理科実験教室	県内、地域活性化委員会と共催 (小学生)
7月から8月	夏休み理科教室	さいたま市の学童クラブ (小学生)
8月	女子中高生夏の学校	全国の女子中高生
10月	理科教室	県立総合教育センター (小中学生)
2カ月ごと	委員会	情報共有、コンテンツ開発など
下期	CPD 講演会	一般ならびに会員向け、CPD 委員会と共催

地域産業支援委員会

埼玉県支部地域産業支援委員会委員長 近藤 孝

地域産業支援委員会の重要なミッションは、「技術の力で地域の発展に貢献する」ことにあります。2023 年度は『新体制での地域産業支援活動の再構築』をスローガンに、活動を続けて参ります。委員の若返りを図り活動を活発化させます。

1. 社会貢献活動

① 防災支援グループは、4月に4回、6月に1回「エフエムこしがや」に技術士が出演して、水害を対象にした防災支援の目的と活動内容を解説しました。

また、立正大学での DIG (図上防災演習) の前段で必要になる「防災まち歩き」を技術士で実施することで DIG のやり方を進化させます。

2. 産学官連携活動

① 理化学研究所の VCAD システム研究会への支援を継続します。技術士 2 名が協力して上市につながった理研発ベンチャー会社のガラス成形シミュレーションソフトは国内だけでなく海外からの引き合いが多く、9月には海外の

販売先が必要とするガラス物性測定に技術士 2 名が協力し、有効なデータを取得する予定です。また、VCAD システム研究会の運営に協力すべく、運営委員会に技術士が 2 名就任して協力を行っています。

② 埼玉大学で、機械系の学生に対して、「企業において機械工学科の卒業生が期待される資質を理解する」というテーマで、技術士が 15 コマの講義を行いました。

3. 外部への技術士紹介活動

① 展示会は、彩の国ビジネスアリーナにリアルとオンラインの両方出展し、技術士活動の紹介を行います。

② 外部からの技術士の紹介依頼は、年初から 11 件受け、3件について依頼元と契約を結びご支援を行いました。

技術問題にお困りの企業様、研究機関、支援機関のご要望にお応えできるよう体制整備を進めています。

埼玉県内にとどまらず、必要であれば近県から適任者を探してご紹介しますので是非、技術士をご活用ください。

地域活性化委員会

埼玉県支部地域活性化委員会委員長 若林 直樹

地域活性化委員会は、合計39名の委員から構成される北部・西部・東部の各小委員会の活動により支えられています。とくに、支部の基本方針「埼玉県内産学官との連携を深めて、技術士の技術力により、地域社会経済の発展に貢献する」および行動指針「行政、公的機関、大学等教育機関、産業界との連携を深め、地域社会経済の発展に資する活動を積極的に推進する」に基づき、地域社会経済の発展を意識し、地域との連携を図ってきました。なかでも、従前より地域の方々に技術士を知っていただくということに努め、2022年度は下表に示すような地域連携活動を展開しました。このなかで、特筆すべき事項としては、北部におけるものづくり熊谷との連携、西部のかわごえ産業フェスタへの出展、東部ではエフエムこしがやでの防災支援活動紹介があげられます。これらの

活動は、これまでにない新たな活動であり、今後もこのような新たな展開を図っていく所存です。

また、新型コロナウイルス感染による制限が緩和され、以前の日常活動が遂行可能な状況になりました。そのため、数年前から課題としてあげられている各地域の商工会議所との連携、いわゆる商工連携については、活動内容を点検し、地域、各企業、各団体等の「困り事」の解決に少しでもお役に立ち、そして、地域経済発展に貢献できるよう、課題解決に注力していきます。

地域活性化委員会は、技術士の資質向上を図るため、各小委員会がCPD講演会・見学会を企画し実施するという役割も担っています。引き続き支部CPD委員会と連携し、充実した内容の企画実現に努めていきます。

各地域小委員会の地域との連携

小委員会	連携先・内容
北部	熊谷商工会議所、ものづくり熊谷、埼玉県産業技術総合センター北部研究所、立正大学
西部	かわごえ産業フェスタ(2022/11/26から2日間開催に出展「川越の地形を知ろう！」)
東部	越谷商工会議所、エフエムこしがや（「知ってなっとく身近な防災」で防災支援活動紹介）

会長表彰受賞者の紹介

埼玉県支部幹事 平松 達生（上下水道、総合技術監理）

この度、会長表彰をいただき、関係各位に感謝申し上げます。私は2013年に埼玉県支部幹事となり、地域産業支援委員会委員、地域活性化委員会東部地域小委員会小委員長として活動をしてまいりました。東部地域小委員会は、当初は春日部市を中心に活動しておりましたが、越谷市が2015年に中核都市となったこともあり、2016年から活動拠点を越谷市に移し、埼玉県東部地域在住の技術士が集まり、交流を図りながら活動しております。

CPD講演会としては2017年1月「働きながら輝く女性たち」、2018年2月「IT、IoT、AI 早わかりセミナー」、2019年1月「初めてのIT、IoT、AI」、2020年2月「IoT、AIが描く私たちの未来と課題」、2020年11月「リアル社会とネット社会の将来」、2021年11月「新型コロナウイルス後の働き方の変革」、2022年10月「下水道の資源化」と年度に1回開催し、CPD見学会としては2014年9月「日本エレベーター製造(株)工場見学」、2015年12月「利根川東遷物語ツアー」、2017年10月「利根川

東遷物語ツアーⅡ」、2019年10月「中川水循環センター見学」を開催し、多くの皆様に参加していただきました。CPD講演会は越谷市殿、越谷商工会議所殿の後援をいただいて開催したものが多く、越谷市の広報誌や越谷商工会議所のHPにも掲載していただきました。

2020年からはコロナ禍となりましたが、3年間、東部地域小委員会運営委員会会合、CPD講演会のすべてをオンラインで開催しました。最初のオンライン講演会は埼玉県支部で初めてのオンライン講演会ということもあり、不安もありましたが、何とか乗り切ることができました。今ではオンライン会議、オンライン講演会は世の中全体で便利なツールとして普及しています。本年5月から新型コロナは5類感染症に移行となり、様々な活動が再び活性化するようになってきております。今後も、技術の力で地域に貢献する埼玉県支部の発展のために、微力ながら尽力する所存です。



平松 達生氏

2023 年度埼玉県支部技術士試験合格者祝賀会報告

埼玉県支部 CPD 委員会 速川 敦彦

2023 年 5 月 20 日 (土) 埼玉県支部 2023 年度技術士試験合格者祝賀会が 2 年振りに、合格者 12 名含む 38 名が参加により新都心ビジネス交流プラザ (北与野) で開催されました。開始にあたり若林支部長から祝辞とともに支部組織の紹介があり、続けて総務企画委員会・CPD・科学技術振興委員会・地域産業支援委員会・地域活性化委員会の内容を各委員長から説明戴きました。

その後特別記念講演として中山佳則氏 (金属部門：中山金属 P E 事務所) より「技術者倫理事例に学ぶ技術士のあり方」という演題で講演がありました。

講演の要旨は以下の通り。

- 技術者倫理は組織ぐるみの問題と考えるべきで法律で足りない規範部分を倫理が補うことが示され、企業ではそのコミュニティ内の風土で倫理が育つ。
- 最新の技術士倫理綱領での基本綱領では言葉が明確化された。
- 技術者倫理事例として三菱自動車のリコール隠しと企業体質、三菱重工の MRJ 開発失敗の要因想定と

今後の提言がなされた。またハドソン川の奇跡における職業倫理と行動規範について事例紹介があった。

- 技術士は日々の中で倫理を勉強・実践し、自己研鑽をし続けることが重要との考え方が述べられた。

講演の質疑応答では活発な意見交換がなされました。講演後には参加者全員の集合写真を撮影し、懇親交流会が行われました。技術士一次/二次試験合格者 12 名の自己紹介が行われ、和やかな雰囲気の中で親睦・交流が深められました。



講師 中山 佳則氏



参加者記念撮影

技術士試験合格者の紹介 (その1)

オリンパスメディカルシステムズ株式会社 浅岡 延好 (アサオカ ノブヨシ) (機械)

入社以来主に顕微鏡及び内視鏡用途の精密機器の研究開発に携わってきました。勤務先の経営理念「世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現」を踏まえ日々業務に取り組んでいます。その上でより安心して製品を使って頂くには「国家のお墨付きの技術士が社内存在し

活躍する事」も重要と思い受験しました。

今後は当該経営理念に加え、技術士法第 1 条「科学技術の向上と国民経済の発展」も踏まえ、精進を続ける所存です。



浅岡 延好氏

清水建設株式会社 井関 貴吉 (イセキ タカヨシ) (建設・総合技術監理)

私は入社以来、建築工事の施工管理、マネジメント業務に長年携わって参りました。現在、建設業は労務不足、2024 年問題、物価高騰などにより多くの問題を抱えています。今回、資格取得を通じて問題解決力とモチベーションを高め、事業の目標達成と改善をしたくチャレ

ンジしました。

今後、建設業の発展と若手の育成に貢献したいと考えております。埼玉県支部の活動にも参加させていただきたいと思っておりますのでご指導の程、宜しくお願い致します。



井関 貴吉氏

日本リーテック株式会社 小柳 昌光 (オヤナギ マサミツ) (建設)

受験動機は、2011 年 3 月 11 日の東日本大震災時、一時的に東日本管内の電気が不足して計画停電が実施され利用者の方へご不便をかけたことが受験の動機です。私は、送電線業界に従事しています。技術士資格を取得して送電業界の地位向上や送電線建設に関する技術力

向上を目的に受験しました。

今後は、建設部門の技術士として建設業界の人脈作りや技術交流を通して社会インフラを下支えし公益確保の為に努力致します。



小柳 昌光氏

技術士試験合格者の紹介（その2）

株式会社カインズ 藤野 博史（フジノ ヒロシ）（機械）

私が技術士を目指した動機は、安全な社会づくりに貢献をしたいという思いからです。私は、現在、モノづくりに携わっています。しかし、製品の強度不足や劣化などによる事故が、未だに発生をしています。私は、これまでそのような事故の削減を目指し、製品開発に取り組

んで参りました。

ですが、まだまだ未熟な部分が多くあります。よって、今後、皆様と研鑽を深め、地域に貢献ができる技術士になりたいと思います。宜しくお願ひ致します。



藤野 博史氏

キャストフィルムジャパン(株) 松原 弘明（マツバラ ヒロアキ）（経営工学・総合技術監理）

3年前技術部門から生産工場の工場長を拝命し、工場経営・運営を体系的に学ぶべく総監を目指しました。

総監の視点は日々の安全操業、安定稼働、安心品質に役立つ面が多く実践に活用しています。

埼玉県支部皆様、よろしくお願ひします。



松原 弘明氏

株式会社住田光学ガラス 松本 幸治（マツモト コウジ）（電気電子）

2022年度、電気電子部門（電子応用）に合格しました。私の業務は、光学ガラスレンズと光電子デバイス（LED、LD、撮像素子など）を組み合わせた光電子応用機器の設計や評価で、主に光学設計を担当しています。

近年、LiDARや防犯カメラに象徴されるよ

うに、光学的な計測や観察は安全安心な社会には欠かせません。

今後、光電子技術の向上による持続可能な社会の実現に尽力してまいります。埼玉県支部の皆様のご指導をよろしくお願ひします。



松本 幸治氏

山本冷凍食品・技術士事務所 山本 達也（ヤマモト タツヤ）（農業・総合技術監理）

農業部門の技術士として技術コンサルタントを実施している中で、単に技術課題の解決に留まらず、関連して人材育成や情報管理、経済性管理などにも踏み込んだ指導が必要となる事例が多くあり、総合技術監理部門の資格が必要と感じて取得致しました。

今後はこの資格を活かし、より幅広いコンサルティング活動が出来るように、継続研鑽をしながら努めて参ります。皆様におかれましてもご指導の程をお願ひ申し上げます。



山本 達也氏

東芝ライテック株式会社 吉野 潔（ヨシノ キヨシ）（衛生工学）

私は、電気会社に勤め、光や紫外線を用いた殺菌・滅菌・水処理・排ガス処理などの産業用の装置開発に従事してきました。

衛生工学部門の技術士を目指したのは、この分野が私のしてきた仕事の内容に一番近く、これから環境を改善する仕事に従事していきたい

と考えたからです。

独立開業して、環境分野で国際的に活躍できる技術士になりたいと思います。ご指導いただければ幸いです。



吉野 潔氏

一般財団法人 建材試験センター 若林 和義（ワカバヤシ カズヨシ）（建設）

はじめまして、私はコンクリートや鉄筋の強度試験などを行う第三者試験機関に所属しており、埼玉県には浦和試験室（さいたま市）がございます。

自己啓発の一環として30歳時に技術士一次試験を受験し始めましたが、二次試験の難しさや、周りに受験仲間がいなかったこともあり、一時は戦意喪失し、気づけば30代終盤でした。

ちょうどコロナ禍で活動が減ったこともあり、覚悟を決めて勉強し、5度目の挑戦で二次試験を通過できました。筆記試験もですが、口頭試験の厳しさは一生の思い出です。

この厳しい試験を乗り越えて活躍されている技術士会埼玉県支部の皆様と交流し、自己を高め、埼玉県を盛り上げていけたらと思います。



若林 和義氏

2023 年度埼玉県支部年次大会報告

埼玉県支部 総務企画委員会副委員長 出森 公人

はじめに

2023年7月29日(土)、埼玉県支部2023年度年次大会を、新都心ビジネス交流プラザ(埼京線北与野駅前)で開催いたしました。参加者は49名でした。

第1部では、支部活動結果と方針を示し、役員改選に伴う新組織の紹介を行いました。第2部では、CPD特別講演を行い、(株)NTTコノキュー取締役 岩村幹生氏からメタバースのお話を戴きました。

第1部 年次大会(13:30~15:35)

若林直樹支部長から支部創立10周年記念事業と前年度活動実績と今年度活動方針の説明及び新組織の紹介がありました。続いて委員会活動実績と計画について報告がなされました。総務企画委員会は白岩信裕委員長、支部会計は菅原宏会計担当、CPD委員会は菅原宏委員長、科学技術振興委員会は中田よしみ委員長、地域産業支援委員会は近藤孝委員長、地域活性化委員会は若林直樹委員長が報告しました。

その後、役員改選後の新組織のメンバーが各々自己紹介を行い、若林直樹支部長から引き継いだ石田正雄新支部長が就任の挨拶を行いました。

挨拶では、「技術士の存在意義は社会貢献である。我々はこの貢献度を最大化することを目指したい。従来の各委員会活動に加え、広報活動と防災活動に注力したい」と抱負が述べられました。この後、ご来賓の千葉県副支部長 山本陽一氏と神奈川県副支部長 嶋田弘僧氏から、ご挨拶をいただきました。

第2部 CPD特別講演会(15:50~16:55)

演題名: XR・メタバースが切り拓くフロンティア

講師: (株)NTTコノキュー 取締役 岩村幹生氏

XRの技術とインパクト、会社紹介、XRによる新しいコミュニケーション世界を講演された。

1)XRの技術とインパクト

XRの種類、MR技術や広域での実現方法、デバイスの評価方法、XRの技術的インパクトなどを解説されました。

2)NTTコノキューの会社紹介

2022年10月1日に事業開始したNTTドコモの100%子会社で、メタバース、デジタルツイン、XRデバイスを主な業務としている。

3)なぜXRなのか、XRで世界はどうなるのか

革新的技術(XR)を使って、産業を興し、人の生き甲斐を作り、社会の人間関係を育み健全な人間性を支えていきたいと述べられました。



講師 岩村 幹生氏



年次大会参加者

埼玉県支部協賛団体の紹介

(団体名はカギ括弧)

1. ベルセッジ・インコーポレイテッド
(日本代表: 菅原宏様)
2. NPO 法人 彩の国技術士センター
(代表理事: 山木幸夫様)
3. 有限会社 中村金属工業
(代表取締役: 三木虎連様)
4. 共和コンサルタント 株式会社
(代表取締役: 小山一裕様)
5. 一般社団法人 技術士さいたま
(理事長: 中村憲雄様)
6. 株式会社 テクノクオリティ
(代表取締役: 渡部利範様)
7. 株式会社 日さく
(代表取締役社長: 若林直樹様)

編集後記

本号は、役員改選後の支部新体制と会長表彰者の紹介及び技術士試験合格者の紹介に特化し報告いたします。従いまして県内各地で実施した支部活動は、次号で紹介させていただきます。

今年も、昨年に続き1名の方が日本技術士会会長表彰を受賞されました。これは長年にわたり支部活動を進められ、地域へ多大な貢献をされたことの証と思います。

支部には新たな技術士試験合格者の方も入ってこられました。未来、次の10年に向かって、新支部長を先頭に前へ踏み出したところですので、皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

おくづけ 公益社団法人日本技術士会 埼玉県支部
こうほう・彩の技術士 第22号
発行年月日 2023年10月1日発行
発行者 埼玉県支部(支部長: 石田正雄)
E-mail saitama@engineer.or.jp
編集 埼玉県支部総務企画委員会